



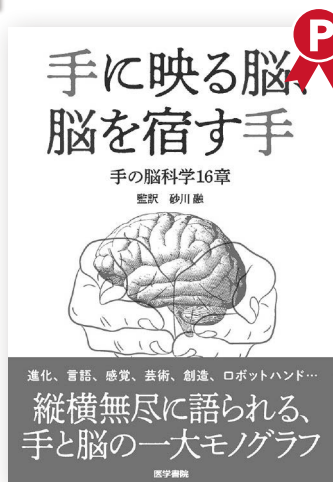
マークス臨床生化学

Michael Lieberman, Alisa Peet = 原著

横溝岳彦 = 訳

本体 8,500 円 + 税 / A4 判・654 頁 / 医学書院 / 2020

他科目と比べて臨床との関連が遠く感じられる、多くの化学反応を覚えなくてはならない…など、生化学を「かったるい」と思う学生も多いかもしれない。諦めてしまったり嫌いになったりする前に、ぜひ本書を手にとってほしい! すべての章で症例が提示され、あらゆる解説が臨床のコンテキストで語られており、医学生・医療系学生のために編まれた、まさに類を見ない生化学テキストである。単訳のため読みやすさも極上。



手に映る脳、脳を宿す手

手の脳科学 16 章

Göran Lundborg = 原著

砂川 融 = 監訳

本体 3,600 円 + 税 / A5 判・272 頁 / 医学書院 / 2020

「手は脳の延長」と聞くと不思議に思う人もいるかもしれない。しかし手は、道具を使うだけでなく、さまざまな創造を担い、芸術を生み出す。運動器官であるばかりではなく、感覚器官でもある。いつも何気なく使う手は知られざる役割を担っている。手外科の大家が、人類進化から電動義手まで手にまつわる多種多様なテーマを縦横に語り尽くし、読者の知的好奇心を満たすエキサイティングな 16 章。手の壮大な物語を堪能しよう。



NHK スペシャル

人体II 遺伝子

NHK スペシャル「人体」取材班 = 編

本体 2,800 円 + 税 / B5 判・224 頁 / 医学書院 / 2020

生命の奥底で躍動する遺伝子の姿を、高精細 CG で描く、NHK 人気番組の完全書籍化。第 1 集「あなたの中の宝物“トレジャーDNA”」。長らく役割が不明で“ジャンク DNA”とさえ言われた領域に最新科学が光を当てた。ゴミの山と思われた場所から、いま次々と「トレジャー」が発見されている。第 2 集「“DNA スイッチ”が運命を変える」。人は、生まれ（遺伝子）と育ち（環境）どちらが重要か？ 答えの鍵は“DNA スイッチ”とも呼べる仕組み、「エピジェネティクス」にあった。興味尽きない DNA の世界!